

令和 2 年度事業計画

(2020 年 4 月 1 日 - 2021 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 67 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 2020 年 5 月 23 日 (土) ~ 25 日 (月)
 会 場 : 大阪府立国際会議場
 会 長 : 塩谷 恭子 (国立循環器病研究センター研究所)
 参加者 : 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (4 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」は下記のとおり発行 (電子配信) する。

発行年月日	巻	号
2020 年 4 月 1 日	69	2
2020 年 7 月 1 日	69	3
2020 年 10 月 1 日	69	4
2021 年 1 月 1 日	70	1

IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 令和 2 年度学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (2 名)

岩倉 洋一郎 会員 (東京理科大学)

黒澤 努 会員 (鹿児島大学)

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

高橋 智 会員 (筑波大学)

「Large Maf 転写因子群の機能解析とヒト疾患との関連解明」

3) 奨励賞 (2 名)

奥村 和弘 会員 (千葉県がんセンター研究所)

「多段階皮膚発がんマウスモデルを用いたがん修飾因子の同定」

倉岡 睦季 会員 (日本獣医生命科学大学)

「イヌ筋ジストロフィーモデルにおける新規の治療評価指標開発を目指した研究」

4) 2019 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (1 編)

橋本晴夫、江藤智生、山本真史、位高美香、後藤元人、香川貴洋、小島圭介、川井健司、秋元敏雄、高橋利一

Development of blastocyst complementation technology without contributions to gametes and the brain

「生殖細胞および大脳に寄与しない胚盤胞補完法技術の確立」

(2) 2019 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2019 年受賞者 (4 名)

中国	: Mr. Shun Li
インド	: Dr. Kiran Bendale
韓国	: Mr. Haengdueng Jeong
台湾	: Dr. Chao-Yuan Hsu

2018 年受賞者 (1 名: 令和元年度来日できなかったため)

スリランカ	: Ms. Hesika Varnakulasingham
-------	-------------------------------

(3) 令和 3 年度日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2020 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2020 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

(6) 第 70 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

V. 委員会等の活動

下記の委員会を設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報・情報公開検討委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会
- g. 定款・細則・規定等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度委員会
- k. 外部検証委員会
- l. 人材育成委員会
- m. 将来検討委員会
- n. 動愛法等対策委員会

VI. 動物実験に関する外部検証

「動物実験に関する外部検証事業」を外部検証プログラムに沿って実施する。

VII. 外部検証のための人材育成

ナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証促進のための人材育成」課題を推進する。

VIII. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）及びアジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続する。
- (4) 米国実験動物学会（AALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターや日本動物実験代替法評価センター（JaCVAM）の活動に協力する。

IX. その他

- (1) 第 67 回日本実験動物学会総会期間中に委員会主催のシンポジウムおよびセミナーを開催する（学術集会委員会、動物福祉・倫理委員会、実験動物感染症対策委員会、国際交流委員会、教育研修委員会）。また、日韓円卓会議および関連学協会との円卓会議を実施する。
- (2) 令和 2 年度維持会員懇談会を開催する。（財務特別委員会）
- (3) 第 9 回実験動物科学シンポジウムを開催する。（学術集会委員会）
- (4) 実験動物管理者等研修会を開催する。（実験動物管理者研修制度委員会）
- (5) 外部検証専門員講習会を開催する。（人材育成委員会）
- (6) 動物実験の外部検証-令和 3 年度の実施準備に向けた説明会を開催する。（人材育成委員会）